【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公表番号】特表2016-517317(P2016-517317A)
【公表日】平成28年6月16日(2016.6.16)
【年通号数】公開・登録公報2016-036
【出願番号】特願2016-502214(P2016-502214)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/04　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/02　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/08　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/145　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/0408　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/0492　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/05　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/04　Ｒ
Ａ６１Ｂ　5/00　１０２Ｃ
Ａ６１Ｂ　5/02　Ｇ
Ａ６１Ｂ　5/02　Ｈ
Ａ６１Ｂ　5/08
Ａ６１Ｂ　5/14　３１０
Ａ６１Ｂ　5/04　３００Ｅ
Ａ６１Ｂ　5/05　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成28年12月26日(2016.12.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の電気接点と第２の電気接点とを備える基部部分と、
前記基部部分に接続されておりかつ前記基部部分から延在する１対の突出要素であって、前記１対の突出要素は、前記基部部分の対向縁部に沿って延在し、かつ、相互に実質的に平行であり、前記第１の電気接点および前記第２の電気接点は、前記突出要素間に、前記突出要素に実質的に平行な線に沿って配列される、１対の突出要素と
を備える、機械的スナップイン接続機構と、
前記第１の電気接点に電気的に連結される第１の電極および前記第２の電気接点に電気的に連結される第２の電極であって、前記第１の電極および前記第２の電極は、生体に固着されるように構成されている、第１の電極および第２の電極と
を備える、使い捨て構成要素と、
前記突出要素に作用可能に係合するように構成されている再利用可能構成要素であって、前記再利用可能構成要素は、前記再利用可能構成要素が前記突出要素に係合されておりかつ前記再利用可能構成要素の少なくとも一部が前記突出要素間に位置するときに、前記使い捨て構成要素に固着されるように構成されており、前記再利用可能構成要素は、

前記生体に固着されるように構成されている前記第１の電極および前記第２の電極から信号を受信し、前記生体に関連付けられる１つ以上の生理学的パラメータおよび物理的パラメータを監視するように構成されているセンサインターフェースであって、前記センサインターフェースは、前記再利用可能構成要素の表面上に第３の電気接点と第４の電気接点とを備え、前記第３の電気接点および前記第４の電気接点は、前記再利用可能構成要素が前記使い捨て構成要素に取り付けられるときに前記第３の電気接点が前記第１の電気接点に連結されかつ前記第４の電気接点が前記第２の電気接点に連結されるように配列される、センサインターフェースと、

セルラー無線通信回路と、

前記生体の身体内の事象マーカーシステムと通信するように構成されている経身体伝導通信モジュールと

を備える、再利用可能構成要素と

を備える、デバイス。

【請求項２】

前記再利用可能構成要素は、筐体と、前記機械的スナップイン接続機構と前記再利用可能構成要素とを連結するために前記筐体に形成されるくぼみと備える、請求項１に記載のデバイス。

【請求項３】

前記使い捨てデバイスは、前記使い捨て構成要素を生体に接着するための接着層を備える、請求項１に記載のデバイス。

【請求項４】

前記使い捨て構成要素は、オーバーレイ層を備え、前記オーバーレイ層は、

前記再利用可能構成要素を覆うように構成されている非接着部分と、

前記使い捨て構成要素を生体に接着するように構成されている接着部分と

を備える、請求項１に記載のデバイス。

【請求項５】

前記再利用可能構成要素は、前記少なくとも１つの電極を前記再利用可能構成要素に電気的に連結するために、電気プラグレセプタクルを備える、請求項１に記載のデバイス。

【請求項６】

前記使い捨て構成要素は、

第１の接着層と、

前記第１の接着層の周囲で前記第１の接着層を部分的に覆う第２の接着層と

を備え、

前記第１の接着層は、第１の接着剤を備え、前記第２の接着層は、第２の接着剤を備える、請求項１に記載のデバイス。

【請求項７】

前記第１の電気接点および前記第２の電気接点は、前記基部部分の両側に配列される、請求項１に記載のデバイス。

【請求項８】

前記再利用可能構成要素は、識別可能な記号をさらに備える、請求項１に記載のデバイス。

【請求項９】

前記識別可能な記号は、前記再利用可能構成要素が前記使い捨て構成要素に取り付けられるときに前記使い捨て構成要素に面する前記再利用可能構成要素の表面上に位置付けられる、請求項８に記載のデバイス。

【請求項１０】

前記識別可能な記号は、通信チャネルＩ／Ｏアドレスを備える、請求項８に記載のデバイス。

【請求項１１】

前記再利用可能構成要素は、１対の対応するくぼみを備える筐体をさらに備え、各突出

要素は、端部部分を備え、前記突出要素の前記端部部分は、前記筐体の前記対応するくぼみに係合するように構成されている、請求項１に記載のデバイス。
【請求項１２】
前記第１の電気接点および前記第２の電気接点は、前記基部部分の両側に配列される、請求項１１に記載のデバイス。
【請求項１３】
前記再利用可能構成要素は、識別可能な記号をさらに備え、前記識別可能な記号は、前記再利用可能構成要素が前記使い捨て構成要素に取り付けられるときに前記使い捨て構成要素に面する前記再利用可能構成要素の表面上に位置付けられる、請求項１１に記載のデバイス。
【請求項１４】
前記再利用可能構成要素は、識別可能な記号をさらに備え、前記識別可能な記号は、通信チャネルＩ／Ｏアドレスを備える、請求項１１に記載のデバイス。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
依然として、他の側面では、本開示による再装着型無線デバイスは、再利用可能構成要素と、使い捨て構成要素とを備える。再利用可能構成要素は、モバイルチップセット、エネルギー源、センサ、および同等物を備えてもよい。使い捨て構成要素は、人間であれ動物であれ、使い捨て構成要素を生体の皮膚に接着させるための電極および／または接着剤を備えてもよい。使い捨て構成要素は、少なくとも２つの形態の接着剤を備えてもよい。
本発明は、例えば、以下を提供する。
（項目１）
使い捨て構成要素に固着されるように構成される、再利用可能構成要素であって、
生体に固着されるように構成される少なくとも１つの電極から信号を受信し、生体と関連付けられる１つまたはそれを上回る生理学的および物理的パラメータを監視するように構成される、センサインターフェースと、
セルラー無線通信回路と、
を備える、再利用可能構成要素を備える、
デバイス。
（項目２）
前記使い捨て構成要素をさらに備える、項目１に記載の再装着型無線デバイス。
（項目３）
前記使い捨て構成要素は、前記少なくとも１つの電極を備える、項目２に記載の再装着型無線デバイス。
（項目４）
前記使い捨て構成要素は、その中に前記再利用可能構成要素を受容するための、機械的スナップイン接続機構を備える、項目３に記載の再装着型無線デバイス。
（項目５）
前記再利用可能構成要素は、筐体と、前記機械的スナップイン接続機構に連結するために前記筐体に形成されるくぼみとを備える、項目４に記載の再装着型無線デバイス。
（項目６）
前記機械的スナップイン接続機構は、第１および第２の突出要素を備える、項目４に記載の再装着型無線デバイス。
（項目７）
前記機械的スナップイン接続機構は、前記少なくとも１つの電極に電気的に連結するため

に少なくとも１つの電気接点を備える、項目４に記載の再装着型無線デバイス。
（項目８）
前記使い捨てデバイスは、生体に接着するための接着層を備える、項目２に記載の再装着型無線デバイス。
（項目９）
前記再利用可能構成要素は、前記少なくとも１つの電極に電気的に連結するために少なくとも１つの電気接点を備える、項目１に記載の再装着型無線デバイス。
（項目１０）
前記再利用可能構成要素は、前記少なくとも１つの電極を備える、項目１に記載の再装着型無線デバイス。
（項目１１）
使い捨て構成要素をさらに備え、前記使い捨て構成要素は、
前記再利用可能構成要素を覆うように構成される非接着部分と、
生体に接着するように構成される接着部分と、
を備える、オーバーレイ層を備える、
項目１０に記載の再装着型無線デバイス。
（項目１２）
前記再利用可能構成要素は、前記少なくとも１つの電極を前記再利用可能構成要素に電気的に連結するために、電気プラグセレプタクルを備える、項目２に記載の再装着型無線デバイス。
（項目１３）
前記使い捨て構成要素は、
第１の接着層と、
前記第１の接着層の周囲で前記第１の接着層を部分的に覆う第２の接着層と、
を備え、前記第１の接着層は、第１の接着剤を備え、前記第２の接着層は、第２の接着剤を備える、
項目２に記載の再装着型デバイス。
（項目１４）
第１の接着層と、
前記第１の接着層の周囲で前記第１の接着層を部分的に覆う第２の接着層と、
を備え、前記第１の接着層は、第１の接着剤を備え、前記第２の接着層は、第２の接着剤を備える、
無線デバイス用の再装着型接着基部。
（項目１５）
前記第１の接着層は、弱い皮膚接着剤であり、前記第２の接着層は、前記第１の接着剤より耐久性がある接着剤である、項目１４に記載の無線デバイス用の再装着型接着基部。
（項目１６）
前記第１の接着剤は、親水コロイド系接着剤を含み、前記第２の接着剤は、アクリル系接着剤を含む、項目１５に記載の無線デバイス用の再装着型接着基部。
（項目１７）
前記第２の接着剤は、シアノアクリレート系接着剤を含む、項目１６に記載の無線デバイス用の再装着型接着基部。
（項目１８）
前記第１の接着剤は、前記第２の接着剤によって覆われるより広い表面積を覆う、項目１５に記載の無線デバイス用の再装着型接着基部。
（項目１９）
通信チャネルアドレス識別を表す記号を第１の無線デバイスに提供するステップと、
画像センサを備える携帯電話コンピュータデバイスを用いて、前記記号の画像を捕捉するステップと、
前記記号によって表される前記通信チャネルアドレス識別を抽出するように、前記捕捉

された画像を処理するステップと、
を含む、方法。
（項目２０）
個人識別番号通信チャネルアドレス識別を表す記号を前記第１の無線デバイスに提供するステップと、
前記記号によって表される前記個人識別番号を抽出するように、前記捕捉された画像を処理するステップと、を含む
項目１９に記載の方法。
（項目２１）
前記個人識別番号を表す前記記号は、人間が読み取れる形態であり、処理するステップは、前記携帯電話コンピュータデバイスのプロセッサによって、光学文字認識機械可読コードを実行するステップと、前記個人識別番号を表すテキスト情報を抽出するステップとを含む、項目２０に記載の方法。
（項目２２）
前記個人識別番号を表す前記記号は、人間が読み取れる形態であり、処理するステップは、前記携帯電話コンピュータデバイスのプロセッサによって、バーコード認識機械可読コードを実行するステップと、前記個人識別番号を表すテキスト情報を抽出するステップとを含む、項目２０に記載の方法。
（項目２３）
前記個人識別番号を表す前記記号は、人間が読み取れる形態であり、処理するステップは、前記携帯電話コンピュータデバイスのプロセッサによって、クイックレスポンス（ＱＲ）コード認識機械可読コードを実行するステップと、前記個人識別番号を表す情報を抽出するステップとを含む、項目２０に記載の方法。
（項目２４）
安全な暗号化リンクを経由して、前記抽出された通信チャネルアドレス識別および前記記号によって表される前記抽出された個人識別番号を使用して、前記第１および第２の無線通信デバイスを対合するステップを含む、項目２０に記載の方法。
（項目２５）
前記通信チャネルアドレス識別を表す前記記号は、人間が読み取れる形態であり、処理するステップは、前記携帯電話コンピュータデバイスのプロセッサによって、光学文字認識機械可読コードを実行するステップと、前記通信チャネルアドレス識別を表すテキスト情報を抽出するステップとを含む、項目１９に記載の方法。
（項目２６）
前記通信チャネルアドレス識別を表す前記記号は、人間が読み取れる形態であり、処理するステップは、前記携帯電話コンピュータデバイスのプロセッサによって、バーコード認識機械可読コードを実行するステップと、前記通信チャネルアドレス識別を表すテキスト情報を抽出するステップとを含む、項目１９に記載の方法。
（項目２７）
前記通信チャネルアドレス識別を表す前記記号は、人間が読み取れる形態であり、処理するステップは、前記携帯電話コンピュータデバイスのプロセッサによって、クイックレスポンス（ＱＲ）コード認識機械可読コードを実行するステップと、前記通信チャネルアドレス識別を表すテキスト情報を抽出するステップとを含む、項目１９に記載の方法。
（項目２８）
前記記号によって表される前記抽出された通信チャネルアドレス識別を使用して、前記第１および第２の無線通信デバイスを対合するステップを含む、項目１９に記載の方法。